

大学評価と機関調査（IR）のための大学情報データウェアハウスについて

森, 雅生
九州大学大学評価情報室

田中, 要江
九州大学大学評価情報室

<https://hdl.handle.net/2324/18816>

出版情報：平成22年度 情報教育研究集会, 2010-12-11
バージョン：
権利関係：

大学評価と機関調査 (IR) のための大学情報 データウェアハウスについて

森 雅生

田中 要江

九州大学大学評価情報室

① 大学評価で必要とされた根拠資料項目

	テキスト	数値
個人ベース	・原著論文、著作 ・特徴ある研究や教育 ・受賞など	・研究業績 ・競争的外部資金
組織ベース	・会議資料 ・規則 ・出版物	・学校基本調査 ・学生アンケート ・卒業生調査
項目数	145	50

少ないように見えて実は大変
調査数 = 50 × 学科専攻数

② なにが課題で何が重要なのか？

課題

個人ベースデータの限界
「個人情報の集積 = 組織情報」

質の向上は数値データ
で客観的に示す!!

解決

業務ベースで稼働するデータ
ベースから定期的に収集

認証評価・法人評価

研究者情報
教員データベース

大学評価ポータル
評価書オーサリング
根拠資料アーカイブ

中期目標計画進捗
管理データベース
計画と自己評価
根拠資料アーカイブ

大学情報データウェアハウス

③ どんなデータを集めるのか？

- ① 学校基本調査
「大学の基本的組織情報」
- ② 学務系データ
「学籍や成績データ、必須」
- ③ 科研費申請採択データ
「外部資金獲得の基本」
- ④ 出張旅費データ
「国際交流把握の情報源」
- ⑤ 人事系データ
「教職員の正確な把握」

データウェアハウスで一元的に集約

④ 他のデータベースとの連携は？

★ 教員データベース
教員の自己点検・評価
すごいSEO効果

個人単位

★ 部局用評価書オーサリング
部局現況調査対応
根拠資料のアーカイブ

部局単位

★ 中期計画年度計画DB
中期計画の進捗管理
根拠資料のアーカイブ

機関単位